

20	単元名	10課 私の家族・私の国	2 / 2
----	-----	--------------	-------

1 単元目標 「○は、□にいます」や「○は、□にあります」を使って話すことができる

2 単元の指導内容（本時 2 / 2）

課	単元	指導内容	主な表現と語彙（例）	字
10	19	<ul style="list-style-type: none"> 家族の言い方 場所を表す助詞の使い方 	「これは、わたしのおじいさんです。」 「おじいさんは、○にいます。」 お父さん・お母さん・おじいさん・おばあさん・お兄さん・・・妹	長音
	20	<ul style="list-style-type: none"> 生物と無生物の区別 自分の国の紹介 	「います。あります。」 「○に○がいます。」・「○に○があります。」 自分の国の名物（建物・食物）	促音

3 本時の指導目標

- (1) 「います・あります」の違いが分かるようにする。
- (2) 「○に△があります（います。）」を使って、自分の国の有名な物を言えるようにする。

4 指導のポイント

- (1) 生物と無生物を区別し「います」と「あります」を使わせる。
- (2) 自分の国の本を見て、有名な物の名称を言わせる。

5 アクティビティ（活動）の方法及び留意点

【活動】

- 日本語では、物の存在を生物と無生物に区別して「いる」「ある」と表現する。外国語ではこの区別をしない言語も多いため、児童・生徒が「いる」「ある」を区別して使うことは難しい。黒板に「いる」コーナーと「ある」コーナーを設け、「いる」コーナーに「動物・虫・人」、「ある」コーナーに「鉛筆・机・家・菓子」などの絵を貼って分類する。
- 小学校低学年には、学校探検に出かけ、「職員室に先生がいる。」「体育館に跳び箱がある。」など、体験的に学ばせると理解を促すことができる。また、小学校高学年や中学生には、児童生徒が関係する国のガイドブックなどを使い、「中国にパンダがいる。」「日本に東京タワーがある。」など、児童・生徒が関心のある事物について表現できるようにする。

【留意点】

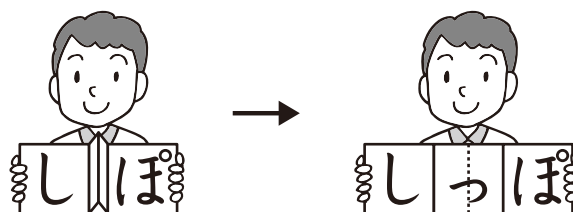
- 促音「っ」の指導に当たっては、手を叩いて表すと1拍分あるが、実際には読まない文字であることを理解させる必要がある。「っ」の文字に×を記したり、5本の指を胸の前で開いた状態から、小さい「っ」できゅっと引く動作をして見せたり、折り畳みのフラッシュカード（促音カード）を用いたりして教える。

6 本時の展開

	学習内容	指導内容等	留意点・教材
挨拶	始めの挨拶 日付・曜日・天気 前時の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・始めの挨拶をする。 ・日付・曜日・天気を答えさせ、板書する。 ・前時の復習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9課以後、授業開始時に日付と天気を必ず尋ねて、板書する。
活動1	文型① 「います・あります」	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの枠を使って「あります・います」の使い分けを示す。 ・絵を書いて分類させたり、動物カードと道具カードを用いて分類させたりする。 ・「○は□にいます」「○は□にあります」を板書する。「先生は、教室にいます。」「消しゴムは、筆箱の中にあります。」など、実際の物の存在を「いる」「ある」を用いて表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ある・いる」の絵 ・高学年や中学生には、生物・無生物の意味の母語を示すと分かりやすい。 ・低学年には、学校探検で物の存在を体験的に話させると効果的である。
活動2	文型② 自分の国にあるもの・いるもの 「○は□にいます。」 「○は□にあります。」	<ul style="list-style-type: none"> ・教師が「日本の有名な物は、富士山と寿司です。」と言って紹介する。「イタリアの有名な物は何ですか?」「○、○、○です。」など世界地図やガイドブックを使って、様々な国の有名な物を紹介させる。「ルーブル美術館は、どこにありますか?」「ルーブル美術館はパリにあります。」「パンダは、どこにいますか?」「パンダは四川にいます。」など 	<ul style="list-style-type: none"> ・動物カード ・児童生徒が関係する国の観光ガイドブック ・世界地図
活動3	文字 ・促音	<ul style="list-style-type: none"> 「しっぽ」「きっぷ」「せっけん」などで練習する。 ・折りたたみカードや板書、ジェスチャーなどで、促音の「っ」は一拍休む音であることを体得させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・促音カード 【宿題】 ノート練習
挨拶	終わりの挨拶	終わりの挨拶をする。	

【促音カード】

小さい「っ」を折りたたんだカード



7 教材・ワークシート

あります	います
------	-----

※それぞれの空間に「あります」「います」を使うものの絵やことばを書かせてください。

○は、△に います・いません。

① ねんせいは、 にいます。

② せんせいは、 にいます。

③ おばあさんは、 にいます。

④

○は、△に あります・ありません。

① ピアノは、 に あります。

② えんぴつは、 に あります。

③

④

○

○

ぼく・わたしの ○は、△に います。(かぞく・しんせき)

の、 は、 にいます。

•

あなたの すんでいた くのに ゆうめいな もの

○は、○に います。(かぞく・どうぶつ・ゆうめいなひと)

は、 に、 います。

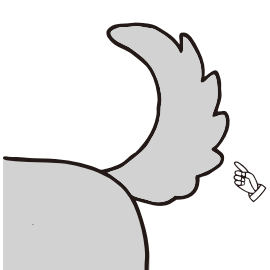

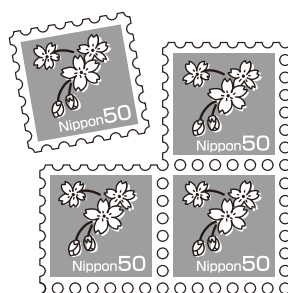





•

○に、○が あります。(たてもの・たべものなどのとくさんぶつ)

は、 に、 あります。

•

つまるおとのかたば「っ」

 <p>しっぱ</p>	 <p>きっぷ</p>	 <p>きって</p>	 <p>せっけん</p>
 <p>はっぱ</p>	 <p>よつと</p>	 <p>こっぷ</p>	 <p>らっこ</p>

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10
- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30